

② 資源向上(長寿命化) 予算(案)

1. 収入の部				
項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較	備考
前年度繰越金	73,459,254	25,151,984	▲ 48,307,270	※前期からの繰越金は、7年度内に使い切る。 (R7.2月、県より)
資源向上支払交付金(施設の長寿命化)	87,193,126	83,987,400	▲ 3,205,726	4/1内示額 約83%。決定額は、10月運営委員会にはかる予定。
その他収入	380,335	338,416	▲ 41,919	利息 1000円 前年度保険戻し入れ 337416円 前年度工事費戻し入れ 0円
合 計	161,032,715	109,477,800	▲ 51,554,915	

2. 支出の部																								
項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較	備考																				
■事務局費(運営委員会全体分)	1,132,355	1,255,000	122,645																					
運営委員役員年報酬	225,000	235,000	10,000	次ページ参照																				
運営委員費用弁償	58,000	98,000	40,000	//																				
消耗品・備品購入費	50,000	50,000	0	※デジカメ・外付けHDD (農地維持共同参照)																				
印刷費	430,000	430,000	0	コピー代等																				
役務費	319,355	310,000	▲ 9,355	郵送料等																				
報告書作成ソフト年保守料	0	22,000	22,000	保守のみ(1本分)																				
報告書作成ソフト購入費	50,000	110,000	60,000	別紙3参照																				
○事務委託費	6,857,000	6,857,000	0																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>今年度の事務員給与額が間もなく決定予定なので、10月の運営委員会で事務委託費の増額の変更をはかる可能性が高いです。</p> </div>																								
<table border="1" style="margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援センター</td> <td>2,785,000</td> <td>2,785,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>百太郎溝</td> <td>2,772,000</td> <td>2,772,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>幸野溝</td> <td>1,300,000</td> <td>1,300,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6,857,000</td> <td>6,857,000</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						令和6年度	令和7年度	差額	支援センター	2,785,000	2,785,000	0	百太郎溝	2,772,000	2,772,000	0	幸野溝	1,300,000	1,300,000	0		6,857,000	6,857,000	0
	令和6年度	令和7年度	差額																					
支援センター	2,785,000	2,785,000	0																					
百太郎溝	2,772,000	2,772,000	0																					
幸野溝	1,300,000	1,300,000	0																					
	6,857,000	6,857,000	0																					
○組織活動費(施設の長寿命化)	153,043,360	101,365,800	▲ 51,677,560																					
農業支援センター委託エリア	85,216,412	45,510,339	▲ 39,706,073	中・上・無エリア																				
幸野溝土地改良区エリア	20,815,895	16,682,512	▲ 4,133,383																					
百太郎溝土地改良区エリア	47,011,053	39,172,949	▲ 7,838,104																					
合 計	161,032,715	109,477,800	▲ 51,554,915																					

(別紙) 積算根拠

【長寿命化】

■ 運営委員 役員年報酬(長寿命化支出分)

役職名	金額/年	人数	金額
会長	50,000	0名	0
副会長	25,000	1名	25,000
会計	40,000	0名	0
監査役	(※6 組織) 25,000	1名	25,000
	(※7 土改区) 25,000	1名	25,000
委員	(※6 組織) 20,000	4名	80,000
	(※7 土改区) 20,000	4名	80,000
合計		11名	235,000

※1 中山間集落選出委員分については、長寿命化の予算から支出

※2 会長及び副会長並びに会計は、必要に応じて事務局が処理する書類について決裁を行う。(報酬に含

※3 監査は、年2回(中間・期末)行うこととし、監査役にて行う。(外部監査もあり)(会長等の参加も可。)

※4 監査役のうち1名は、土地改良区(代表者)の中から選出する。

※5 役員改選の際の運営委員会の費用弁償は旧・新役員ともに支払う。

※6 組織とは、組織代表者の委員を指す

※7 土改区とは、土地改良区代表者の委員を指す

■ 運営委員 委員費用弁償(長寿命化支出分)

運営委員会役員数		
委員	無土地改良区エリア組織	2名
	上村土地改良区エリア組織	1名
	中球磨土地改良区エリア組織	1名
	幸野溝土地改良区エリア組織	1名
	百太郎溝土地改良区エリア組織	1名
	上村土地改良区(代表者)	1名
	中球磨土地改良区(代表者)	1名
	幸野溝土地改良区(代表者)	1名
	百太郎溝土地改良区(代表者)	1名
	錦町土地改良区(代表者)	1名
合計		11名

運営委員会取り決め(会議等日当)		
項目	単価	備考
費用弁償	2,000/1回	あさぎり町外
費用弁償	1,500/1回	あさぎり町内

年スケジュール

年・月	会議等	人数・回数	運営委員会役員会議費用弁償	
R7.4.7	令和6年度期末監査	0名	1,500/回	0
R7.4.16	第1回運営委員会	9名	1,500/回	13,500
R7.6.20	第2回運営委員会	11名	1,500/回	16,500
R07.10月	第3回運営委員会	11名	1,500/回	16,500
R07.12月	技術研修	0名	2,000/回	0
R08.1月	令和7年度中間監査	11名	1,500/回	16,500
R08.2月	ブロック会議	1名	2,000/回	2,000
R08.3月	第4回運営委員会	11名	1,500/回	16,500
予備1回分	運営委員会	11名	1,500/回	16,500
			98,000	

R8開催なし

■ 事務局費(事務費)

※ 役務費2の予算額に、利息(予算額)を上乗せする。

費用名	前年度予算	今年度予算	
消耗品費(運営委員会資料等の紙代 その他文具用品等)	50,000	50,000	430,000
印刷費1(運営委員会資料等の印刷費)	200,000	200,000	
印刷費2(運営委員会報告資料全構成員の印刷費・封筒等)	230,000	230,000	310,000
役務費1(切手代・JAネットバンク月額利用料3,300円*12か月÷2=19,800等)	40,000	40,000	
役務費2(運営委員会報告資料全構成員の郵送料等)	279,355	270,000	812,000
報告書作成ソフト年保守料 1本分	0	22,000	
	799,355		

(2) 積算システム導入について(予告)

町より、「長寿命化事業を適正に行うため、

- ・ 担当事務員は、年1回以上、研修を受けるように
(熊本県建設技術センターが行うもの)
- ・ 積算システムを導入するように

という指導を受けました。



↓このためには、以下の費用が発生(概算)↓

・ 研修にかかる経費

1) 受講費用 (林田・市田・黒木・山村・桑原)
6000円/回 × 年2回 × 5人分 = 60,000 円

2) 高速代
人吉～城南スマートインター
3080 円/1往復 × 年2回 × 車2台 = 12,320 円

3) ガソリン代
約3000円/1往復 × 年2回 × 車2台 = 12,000 円

合計 84,320 円

・ 積算システムにかかる経費

PCリース&システム使用料(1年間) 275,000 円

協議会に確認 → 「このような経費は、事務委託費から支出する。」

町より、令和8年度から実施するよう指導を受けたので、
令和8年度の事務委託費の増額を申請する予定。

金額を精査し、改めて、令和8年3月の運営委員会にはかります。